後期開幕戦 痛い黒星発進

試合終了。肩を落とす選手たち(撮影：森 綾香)

駒澤大学1－2朝鮮大学校

9 月 4 日 11：30　江戸川区陸上競技場

駒大	1	(0-1) (1-1)	2	朝鮮大

得点者（ｱｼｽﾄ）

[駒]82 分吉岡

[朝]2 分 姜(韓)
[朝]62 分 安(朴)

KOMAZAWA	CHOSENDAI
GK㉒野村政孝(4)	GK①李　在根(2)
DF⑬大木　暁(3)	DF⑮趙　顕一(2)
DF㉕嶋谷昇大(2)	DF㉒槙　鏞紀(2)
DF④平尾優頼(3)	DF③李　教俊(4)
DF③田中雄一(4)	DF㉓安　泰永(1)
MF⑥若山瞭太(4)	(73 分⑳金　慎也(2))
MF⑦碓井鉄平(4)	MF⑰高　志煌(1)
MF㉔久永　翼(2)	MF㉑康　貴成(2)
(72 分㉗キム・デセン(1))	MF⑥任　良太(4)
MF⑱溝口祐真(3)	MF⑫姜　光(2)
(83 分⑧畦地健太(4))	(93 分⑦　尹　昌洙(4))
FW⑯柳川剛輝(2)	MF⑭朴　利喜(3)
(72 分㉚吉岡雅和(1))	FW⑯韓　勇俊(1)
FW⑨小牟田洋佑(3)	(90 分⑨高　尚人(4))
S　U　B	S　U　B
GK①大石健太(4)	GK㉘金　成大(2)
DF②友廣壮希(4)	DF㉔鄭　壮輝(3)
DF⑤伊藤槇人(3)	MF⑬高　英俊(4)
MF⑳立石忠之(2)	FW⑩周　祐慶(4)
MANAGER 岡田誠史	MANAGER 金　鐘成

[シュート]11:5 [GK]9:15 [CK] 10:0 [直接 FK]9:18
[間接 FK]1:1 [主審]長谷川　雅　[観衆]141 人

警告(C)／退場(S)

[朝]32 分　安　泰永(c)
[駒]42 分　嶋谷昇大(c)
[朝]56 分　槙　鏞紀(c)
[朝]93 分　朴　利喜(c)

重く圧し掛かった序盤の１失点

前期リーグ戦を終え首位・東国大と勝ち点差４で折り返した２位駒大。対するは前期リーグ戦７位に沈み、後期リーグで巻き返しを図る朝鮮大。お互いにとって是が非でも欲しい勝ち点３を賭けた後期リーグ開幕戦。

開始早々に試合は動いた。３分、先制点を奪ったのは朝鮮大だった。中央からのロングボールを受けた姜が巧みなトラップで DF のマークを外しシュート。これが決まり駒大は開始早々から１点を追う展開となった。早く追いつきたい駒大も反撃を開始する。８分、スローインからのボールを小牟田が競り勝ち、最後は久永がフリーでシュートを打つもキーパーに弾かれてしまった。３３分、再び駒大に決定機が訪れる。左サイドを突破した田中のクロスに溝口がシュート。このこぼれ球を柳川が詰めるも惜しくもゴールを割ることはなかった。前半は決定機を決めきれず、１点ビハインドで折り返した。

後半。最初のチャンスは駒大だった。自陣からのロングボールを小牟田が DF に競り勝ちそのままシュート。これはゴールマウスの上へと外れていった。駒大は攻め続けるもなかなかシュートチャンスに持ち込めない。それでも６０分。田中のクロスを小牟田が合わせるが弾かれる。そのこぼれ球も僅かに押し込めずまたも決定機を逸してしまった。すると２分後、セットプレーから朝鮮大に追加点を奪われ差を２点に広げられてしまった。駒大は７５分に吉岡、キムを投入。ここから流れが変わった。８０分、右サイドでボールを受けた吉岡が個人技で中へ持ち込みシュート。これが決まり１点差に詰め寄った。しかし、ここから果敢に攻めるもあと１点が遠く万事休す。後期開幕戦は痛い黒星を喫してしまった。

「早い時間の失点が痛かった」「この失点が大きく影響した」と選手たちは口を揃えて立ち上がりの失点を悔いた。「前期の課題は失点の多さ。改善するためにこの夏やってきたが、２失点したので、意識が足りてない」と語るのは平尾。前期も多かった失点をいかに減らすかが昇格のカギになるかもしれない。次戦では夏の成果を果たすべく、法政大攻撃陣をシャットアウトして完封で後期初白星を挙げてもらいたい。

（権平雅大）